

### Topic 予算特別委員会

#### 歳入

区の歳入には特別区民税などの税収だけでなく、区の自助努力で獲得できる収入があります。補助金の活用や広告料収入を増やす取組など、税金以外の歳入確保について必要な施策が講じられているかという観点で質問しました。

**松本**：「保育所等におけるICT推進事業費補助金」として4100万円が計上されているが、この補助金で来年度どのような事業を行うか。

**保育施設支援担当課長**：保育士の業務負担軽減を図るために、事業者が保育業務支援システムを導入する際にその費用の一部を補助する。導入するシステムは事業者が選定する。

**松本**：今後命名権設定を検討している区施設があるか、また提案型に対する応募はあったか。

**行政管理担当課長**：命名権を設定する施設を特定はしていない。提案型については複数の事業者から提案があったが、金額面で折り合わなかった。

**松本**：広告料収入が545万円余増加している。どのような取組、状況の変化があったか。

**行政管理担当課長**：広告料収入を増やすために専門的な知見を持っている、営業力のある広告代理店の活用を拡大した。

\*その他、「都補助金(歳入)」についても質問で取り上げました。

#### 歳出 生活経済費等

ITを活用した行政の効率化や、「最小の経費で最大の効果を上げる」取組が行われているかを確認しました。

**松本**：証明書のコンビニ交付について、利用数などはどのように推移しているか、またコストをどのように評価しているか。

**区民課長**：平成29年度24000枚(発行全体の3.6%)から、令和元年度は1月末まで57000枚(同11%)と伸びている。導入当初は1枚にかかるコストが3000円だったが、利用が伸び1枚1000円程度まで下がった。自動交付機の保守経費と比較してかなり安く、利用の前提となるマイナンバーカードについて、国の取組もあり、交付率が伸びていることから、今後さらにコストは下がる見込み。

**松本**：現状コンビニで交付されない証明書も、コンビニ交付の対象とすべきと考えるが、今後の方針は。(右下へ続く)

#### 歳出 都市整備費等

地元狹窪のまちづくりは区政の重要テーマと位置付けられていますが、関連予算は来年度約半分に減少していることから、具体的な取組内容について踏み込んだ確認をしました。

**松本**：狹窪駅南口から大田黒公園に向かう道に迷われた来街者への対応に地元が苦慮している。来年度の何月を目途に、駅周辺の案内サインを設置するのか、明確な答弁を。

**みどり公園課長**：地域の皆様にはご負担をお掛けしている。大変申し訳ないが、この場ですとはっきり約束できるものではない。「日でも早く改善してまいりたい」。

**松本**：バリアフリー化に向けたエレベーター設置のための用地収用など、来年度具体的に取組むのか。

**拠点整備担当課長**：エレベーターの設置については用地の確保や費用など課題が非常に多く、来年度予算としては計上していないが、狹窪地下道のバリアフリー化については中期的取組として調査・検討を行う。

**杉並土木事務所長**：狹窪地下道は今年度も修繕工事を予定していたが、最低入札参加者数に満たず入札が中止になり、来年度に繰り越す。工事内容は地下道の断面を修復し塗装を施す。またLED化し明るさを確保する。

**松本**：中央線関連大型事業の終期が見え始めたことから、本格的な交渉を始めるとは熟したものか考える。今年度のJR東日本との情報交換の状況を確認し、また交通戦略報告書の工程を遵守して、地権者、交通機関、区の三者で、実務的な議論を行う分科会を来年度立ち上げるべきと提案するがいかがか。

**拠点整備担当課長**：状況を見ながらJRとは情報交換の場を設定している。長期的な取組の課題として駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会を捉えた駅周辺の基盤整備にあわせて、既存南北連絡通路の抜本的改善や新たな動線整備に向けた取組を検討する。分科会についても状況を見ながら進めていく。

### Topic 委員会 報告事項に対する質疑

保健福祉認可保育所整備・運営実施候補者(令和3年4月開設分)の選定結果について

**松本**：連絡帳のスマホアプリ化、おむつの持ち帰りなしなどが保護者から評価されている保育園がある。このような志向の変化に迂遠事業者を選定するため評価項目も対応していくべきと考えるがいかがか。(右下へ続く)

**区民課長**：来年度住民情報系システムとあわせて、「コンビニ交付にかかるシステムも入れ替える。令和3年1月から戸籍の謄抄本、戸籍の附票の写し、過年度分の住民税証明書をコンビニ交付に対応させる」。

**松本**：区民意向調査における「区からの情報伝達度の目標と実績は」。

**広報課長**：令和元年度調査の実績は43.9%。目標は80%。

**松本**：情報伝達度を高めるために起用されている、広報専門監の取組を見直すべきでは。分析によると30代・40代、家族形成期の情報伝達度が低く、この点を改善するために、インターネット上での情報発信などの強化を意図した取組の選択と集中が必要では。

**広報課長**：SNSへの取組やホームページの閲覧数増などの実績もあり、インターネット上の情報発信にも知見のある広報監と認識している。来年度も現状路線をブラッシュアップしつつ、SNSのフォロワー数が足りていない点について重点的に取り組んでいきたい。

\*その他、「区民相談」「防災」「公共施設予約システム」について取り上げました。

\*新型コロナウイルス感染症に関する質問については、委員会内の取決めに従い、他の委員に集約して行いました。

#### 歳出 保健福祉費等

杉並保健所所管の質問については、新型コロナウイルス感染症への対策を優先してもらった観点で控え、福祉分野における次年度の新しい取組を中心に質問しました。

**松本**：産後ケアについて、アウトリーチで母子を区の施策に接続することが重要であることを一般質問で取り上げたが、平成30年度のショートステイ、デイケア、母子訪問事業の利用者はどのような経過(すこやか赤ちゃん訪問など)から利用に至ったか。

**子ども家庭支援担当課長**：ゆりかご面接が22件(33.4%)、すこやか赤ちゃん訪問が17件(26.6%)、産婦人科や出産後の医療機関からの連絡で把握したのが15件(23.4%)。その把握をきっかけにして個別に保健師が支援を開始し、必要性を判断し産後ケアに繋いでいる。

\*その他、「学校休校に伴う学童クラブの対応について」「ICTを活用した見守りの充実」「レジ袋削減」「カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談」「親なき後の障害者の住まいへの支援」についても取り上げました。

\*新型コロナウイルス感染症に関する質問については、委員会内の取決めに従い、他の委員に集約して行いました。

**保育施設担当課長**：指摘の項目は「保護者との関わり方」という項目の中でアレンジしているが、委員からご意見があったことを踏まえて今後の各委員会選定を進めていく。

保健福祉私立認可保育所運営事業者が新たに園庭を確保する場合における補助制度の創設について

**松本**：20㎡以上の土地としているが、この広さはどのように決定したか。

**保育施設担当課長**：大きい用地を対象とすると確保が難しく、小さいと園庭としての要件を満たさない。幼児がプール遊びをするのに必要な広さを目安として設定した。

**松本**：今年度の予算額341万3000円で何園程度整備できる想定か。

**保育施設担当課長**：当初予算では2園を見越して予算要求している。

\*その他、病児保育室の新設計画について、民間学童クラブの整備計画について等質問しました。また災害対策・防犯等特別委員会では、「3.11を忘れない」等の取組について「ブロック塀等の安全対策について」質問しました。



▲ 新型コロナウイルス感染症に配慮しながらの質問

### ご意見・ご要望ハガキ

キリトリ線に沿って切り抜き、ご投函ください。

郵便はがき

1 6 7 8 7 9 0

松本みつひろ事務所 行

杉並区狹窪 4-21-8-301



差出有効期間  
令和4年1月  
4日まで  
(切手不要)

